

活用しよう

郡上の森林資源

郡上市の森林の現状

本市の総面積の9割を占める森林のうち、97%が民有林で、さらにその約5割がスギ、ヒノキを中心とした人工林です。この人工林の林齢別分布は、木材利用できる40年生以上の森林が全体の8割を占め、戦後に一斉造林された森林の多くが伐期を迎えています。

しかし、外国産木材の輸入増加による国内木材産業の低迷や、過疎化・高齢化などによる山林所有者の山離れ・林業離れが進み、必要な手入れが行き届かない森林が増加しています。手入れのされない森林は、過密となり、林内に光が届かなくなっています。

手入れの行き届いた人工林

過密状態の人工林

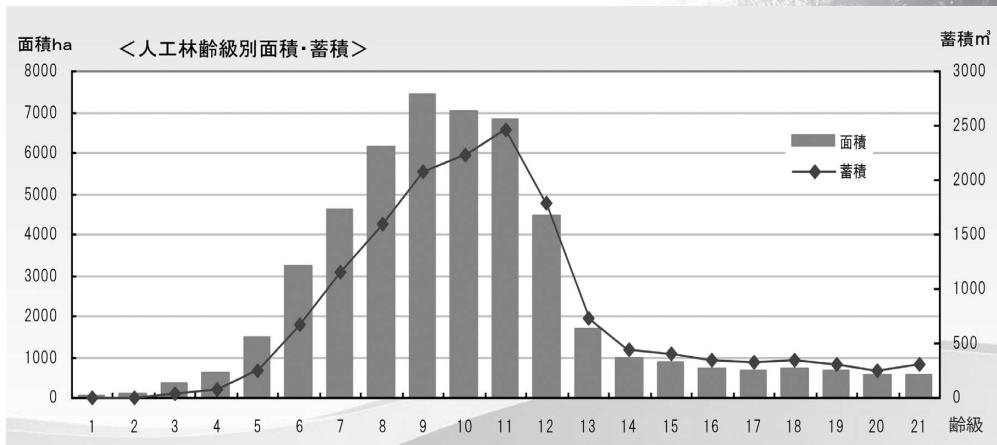
いことから下層植生がなくなり、土がやせ、保水力が失われるなど森林の持つ土砂崩壊防止機能が低下し、土砂崩れの恐れが高くなります。森林は、水源かん養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止などの多面的機能を有していますが、この機能を持続的に発揮していくためには、森林の適正な整備・保全が必要です。

市では、森林の持つ機能を高めに発揮させ、森林を健全な形で後世へと繋げていくために、木材生産、環境保全など目的に応じた森林整備を進めるとともに、再生可能な資源である木材の有効利用を図り、森林資源の循環利用を進めるため、様々な施策に取り組んでいます。

郡上市の人工林齢級別面積と蓄積量

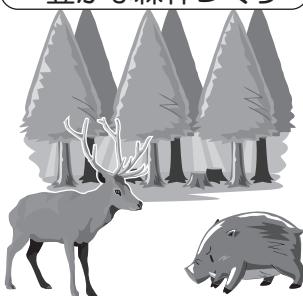
【特徴】 8~11齢級が多く、全体の約5割を占めます。

※1齢級は5年生です。
※3~12齢級が間伐対象になります。



郡上市の主な林業施策

豊かな森林づくり



- ・間伐の推進
- ・伐採跡地の確実な更新
- ・鳥獣害対策の推進

森林資材の利用促進



- ・公共施設の木造化、木質化の推進
- ・郡上市産材住宅建設等支援
- ・木質バイオマス利用促進

林業を支える人づくり



- ・林業技術習得研修受講者への支援
- ・森林環境教育の推進
- ・林業グループ等団体支援

郡上市では、健全な形で森林を次世代へ引き継いでいくために様々な取り組みを行っています。今回は、郡上の森林の現状と、みんなに身近なストーブに森林資源を活用する「木質燃料ストーブ購入補助事業」について紹介します。

未利用材の有効利用

（木質燃料ストーブ購入補助事業）

木質燃料ストーブを購入された大和町在住のTさん（男性）

子どもの頃から囲炉裏に憧れがあり、リフォームや市の助成がきっかけで薪ストーブを購入しました。

薪ストーブを実際に使ってみると、とても暖かく、気持ちいい温もりが感じられます。洗濯物もよく乾くと家族にも好評です。

自分で木を切って薪を調達していますが、太い木が上手に割れたときは気持ちいいです。薪

は主に広葉樹を使用しており、その中でもケヤキが一番使いやすいです。薪をよく乾かして使用すれば火がつきやすいし、すすもあまり出ません。薪ストーブの暖かさが最高に気持ちよく購入してよかったです



Tさん宅の薪ストーブ

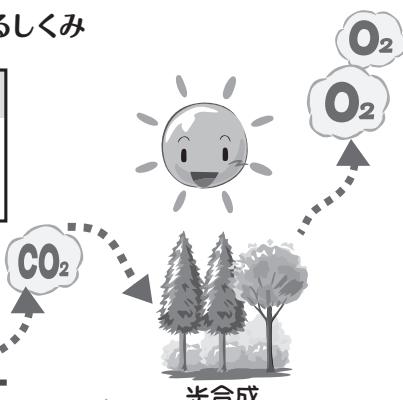
薪ストーブ、ペレットストーブの燃料は「木質バイオマス」で、地球に優しいエネルギーです

◆「木質バイオマス」ってなに？

「バイオマス」とは、生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のことを呼びます。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。

木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材や間伐材、製材工場などから発生する樹皮やおが屑などのほか、街路樹の剪定枝などの種類があります。

◆木質バイオマスが循環するしくみ



◆木質バイオマスを利用するメリット

郡上市は総面積の9割を森林が占め、利用できる木質バイオマスが豊富です。間伐等による薪を使用することで、森林整備の推進や地域経済の活性化に繋がり、市内の森林循環利用へと繋がっていきます。

問 農林水産部林務課
67・2121

来年3月までに設置する、税込み本体価格20万円以上の薪ストーブ及びペレットストーブで、市内の業者（代理店や工務店等）から購入し、自宅や会社、農業用施設や作業所等に設置するストーブ本体が補助対象です。補助金額は対象経費の3分の1以内で、10万円が上限です。

■補助制度の内容

木質燃料ストーブを利用されている人からは、とても暖かい、温もりが気持ちいいなど、好評の声をいただいています。市内の豊かな森林資源を有効に活用し、森林整備を進めるためにも、木質燃料ストーブを購入してみませんか。その際には「木質燃料ストーブ購入補助制度」をぜひご利用ください。